

前橋・藤岡市長との  
意見交換を実施

# 政策要求の早期実現をめざして!

連合群馬の政策要求の早期実現につなげるため、市町村長との連携強化を目的として、9月19日に前橋市長、10月4日に藤岡市長と意見交換を行いました。

この意見交換では、連合群馬および地域協議会の活動を紹介し、連合群馬が政策要求へ取り組む思いや、組合員のみならず広く県民の意見を行政に届けていることを理解してもらうため、初めて行ったものです。

今後も随時、他の市町村長との意見交換を実施します。

## 前橋市 (9/19)

意見交換では、中核市としての前橋の特徴をどのように出していくのかとの問いに、「バランスの良い産業振興」、「非正規労働者の労働環境の底上げにつながる施策を展開する」といった考えが出されました。また、行政の勤労者支援施策のPRについて、連合の協力をいただきたいとの要望も出されました。



前橋：山本市長

社会貢献や様々な活動、広く県民の声を聞き取り組む連合の県民に対する思いを感じる。

今後も、様々な意見をお寄せいただき、連携をはかっていきたい。

## 藤岡市 (10/4)

意見交換では、高速道路網が交差する藤岡市の利点をどのように活かすかとの問いに、「名古屋市における企業誘致の取り組みや、新潟港を起点としたアジアへの産業振興戦略の考え方、さらには工業団地と高速をつなぐ道路インフラ整備などを展開する」といった考えが示されました。



意見交換 (藤岡)



藤岡：新井市長

財源の問題もあるが、連合の要求は受け入れられるものばかりであり、1つでも前進させられるよう執行部で検討していきたい。



意見交換 (前橋)

### 労働基準監督署との意見交換 地域の労働問題を共有

地域で起こっている労働問題を共有し、発生した労働問題の早期解決に向けて、8月26日～9月26日の期間で、県連合・地協四役と労働基準監督署（以下、労基署）との意見交換を行いました。

労基署からは署長や監督課長、監督官などが出席し、労基署の相談窓口で寄せられている労働相談内容や解決に向けた取り組みについて説明がありました。

連合群馬からは、なんでも労働相談の実績を報告し、地協から、労働者の立場から現場で実際に起きている労働問題を説明しました。労基署からは解決に向けたアドバイス等があり、今後の労働問題解決方法を学ぶことができました。

**【意見交換開催結果】**

開催日	訪問場所	参加人数	
		労基署	地協
8月26日 (月)	沼田労基署	3	3
8月27日 (火)	太田労基署	3	7
8月29日 (木)	中之条労基署	2	4
8月30日 (金)	高崎労基署	2	5
9月18日 (水)	桐生労基署	2	5
9月25日 (水)	前橋労基署	3	4
9月26日 (木)	藤岡労基署	3	5

※7カ所の労基署で県内全域の労働問題を扱っています

＜労働基準監督署へ寄せられている主な相談内容と特徴点＞

- ・介護従事者からの相談が増加傾向にある。
- ・雇止めや解雇、労働時間や賃金が求人票と実際とで異なるといった相談が多い。
- ・パワハラ・セクハラについては、対応が難しく労働局の均等室やあっせんを紹介している。
- ・過労死に繋がるメンタル疾患や長時間労働が増えている。
- ・法違反を承知した上で、中堅社員に対して、厳しい仕事を与えている事業主が多い。
- ・建設業や製造業では、安全管理の強化により、災害は減ってきている。



太田地協と太田労基署



吾妻地協と中之条労基署



前橋・渋川・伊勢崎地協と前橋労基署



藤岡地協と藤岡労基署